

# TOTO

## クリーンドライ(温風タイプ)

TYC110型





日本国内専用




商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。商品にはお客様用として、取扱説明書(保証書付)が同梱されています。取り付け後は必ず付属の保証書に、店名およびお取付日等を記入してお客様へお渡しください。








### 1 安全上のご注意 (安全のために必ずお守りください)


取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	⊘は、してはいけない「禁止」の内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
	Ⓛは、必ず実行していただく「強制」の内容です。左図は、「必ず守る」を示します。

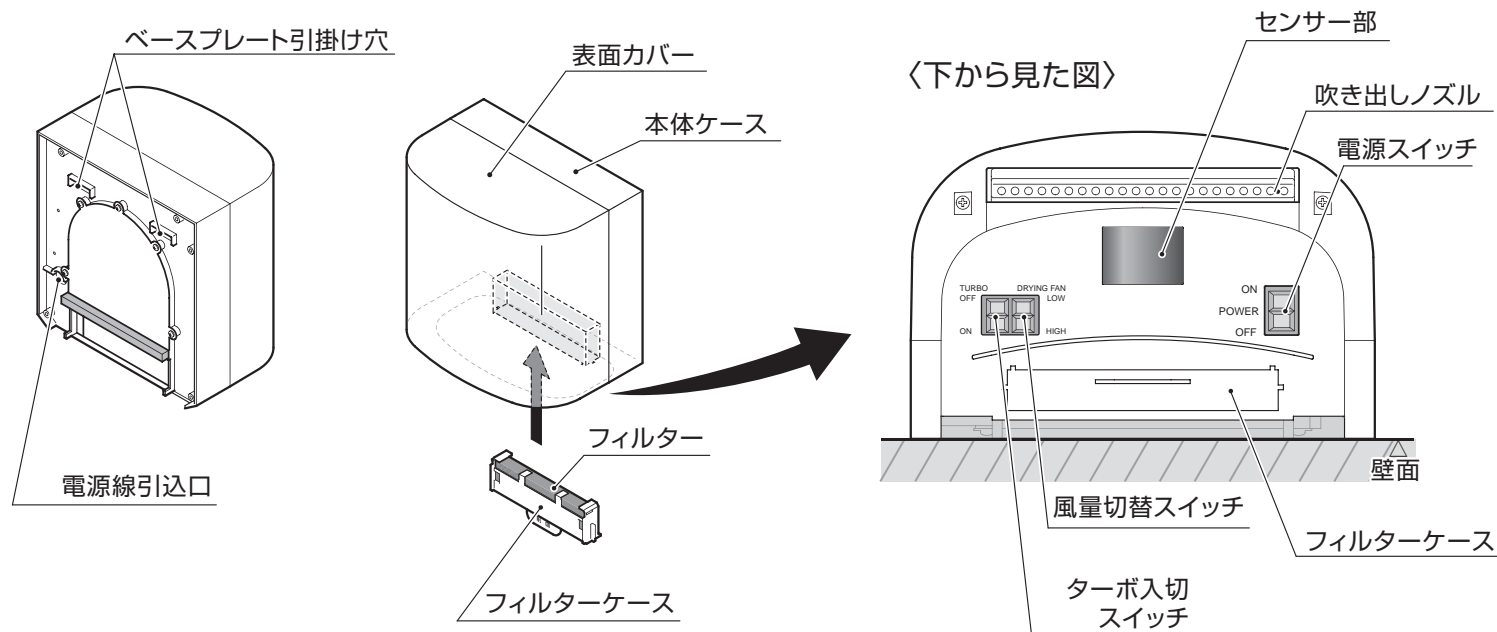
 <b>警告</b>	
	屋外や浴室など湿気が多い場所や直接水のかかる場所へ設置しない 火災や感電、故障の原因になります。
	腐食性ガスや可燃性ガスなどの雰囲気中へ設置しない 火災や故障の原因になります。
	粉塵の多い場所へ設置しない 火災や感電、故障の原因になります。
	塩害地域へ設置しない 感電や故障の原因になります。
	指定する電源(AC100V)以外では使用しない 火災の原因になります。
	電源線が破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重たいものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしないでください。傷んだまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。

 <b>警告</b>	
	ガタついているコンセントは使わない 火災や感電の原因になります。 <span style="float: right;">電源プラグ使用の場合</span>
	コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。 <span style="float: right;">電源プラグ使用の場合</span>
	絶対に分解したり、修理、改造は行わない 火災、感電の原因になります。
	濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。 <span style="float: right;">電源プラグ使用の場合</span>
	電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」および施工説明書に従って、電気工事士の資格をもった方が行う 不確実な接続をすると、接続部が発火し火災の原因になります。
	電源には漏電遮断器を取り付ける 故障や漏電の際に、感電する原因となります。
	電源コードは、定格仕様のものを使用し確実に接続する 不確実な接続は火災の原因になります。 <span style="float: right;">電源プラグ使用の場合</span>
	AC100Vの電源コンセントを使用する際は、定格15A以上のコンセントを単独でご使用ください。他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱し火災の原因になります。 <span style="float: right;">電源プラグ使用の場合</span>
	電源プラグを抜くときは、必ず本体を持って引き抜く コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。 <span style="float: right;">電源プラグ使用の場合</span>
	電源プラグの刃などについてホコリは定期的に取り除き、根元まで確実に差し込む 火災や感電の原因になります。プラグを抜き、乾いた布でふいてください。 <span style="float: right;">電源プラグ使用の場合</span>
	 <b>必ず実行</b> 本体は十分強度がある平らで垂直な壁面に確実に取り付ける 落下してけがをしたり、破損の原因となります。

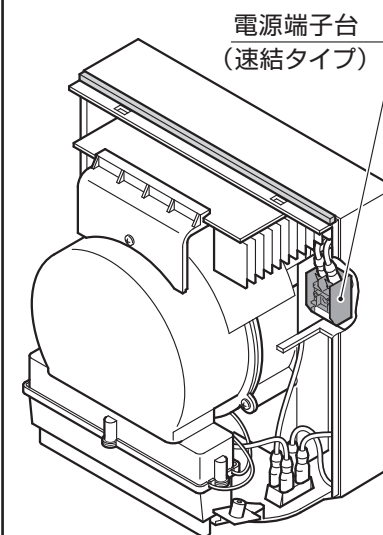
	<b>お願い</b> ご使用の際、手を激しく動かすなど手の乾かし方によっては細かな水滴が周囲に飛び散ることがありますので、壁材や床材には、耐水性のある材料をご使用ください。
---	--

## 2 部品の確認および各部のなまえ

### クリーンドライ本体



### 本体部

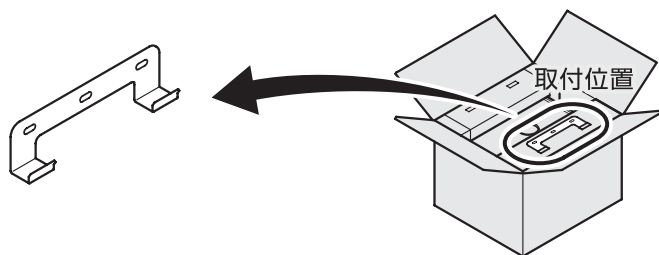


〈表面カバーを外した状態〉

### 付属品

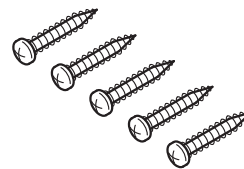
※品番は予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

#### ベースプレート



品番: TYH523

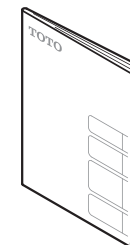
#### 取付ねじ



(φ 4.5×30、5本)

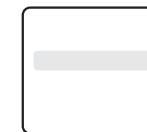
品番: F30191

#### 取扱説明書(保証書付)



品番: F06669R

#### 使用方法ラベル



品番: F05928R

## 3 施工方法

### 3-1 施工前の注意

#### 警告

電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」および施工説明書に従って、電気工事士の資格をもった方が行う不確実な接続をすると、接続部が発火し火災の原因となります。

電源には漏電遮断器を取り付ける  
故障や漏電の際に、感電する原因となります。

■ 定格以上の漏電遮断器を単独で設置し、指定の電源を印加してください。

	TYC110型
漏電遮断器	定格15A以上
電源	AC100V±10%
備考	200V印加すると商品(コントローラー)が故障する

### 3-2 電源線直結時の施工方法

(コンセントプラグ使用時は **3-3** から参照ください)

#### 1 スイッチボックスの埋め込みと配線

・スイッチボックス(JIS C 8340)を壁面に埋め込み、電源線(VVFケーブルφ1.6またはφ2.0の単線)を配線します。

- ・スイッチボックスの中心位置は、以下のとおりとしてください。  
(※ベースプレート取付穴が標準取付高さ1260mmを目安で取り付けられる場合)
- ・上下方向…床面より1130mm、左右方向…中心より77mm右側  
電源線は壁面から300mm程度出しておいてください。

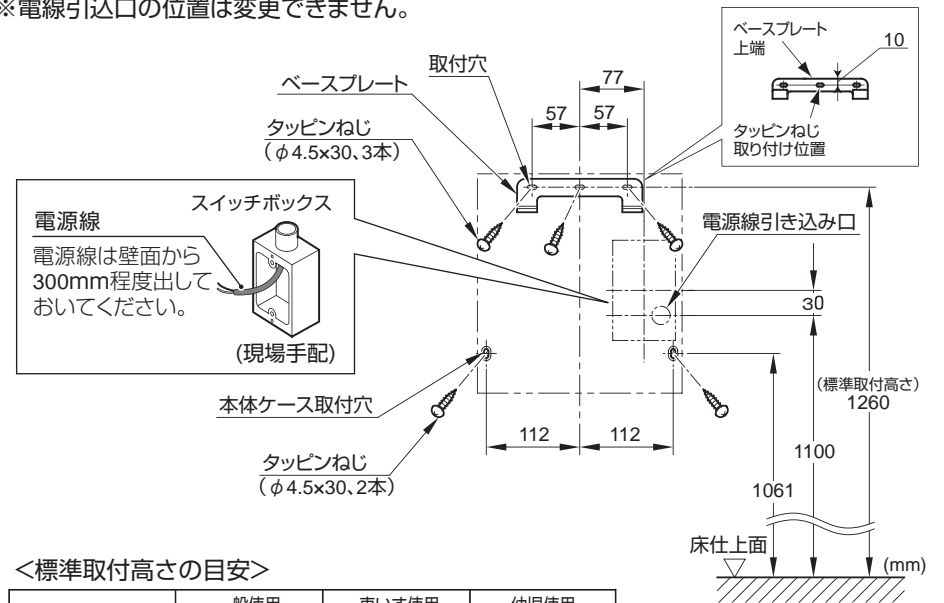
### 2 ベースプレートの取り付け

#### 注意



本体は十分強度がある平らで垂直な壁面に確実に取り付ける  
落下してけがをしたり、破損の原因となります。

- ・ベースプレートをタッピンねじ(φ4.5×30、3本)を用いて、確実に壁面に固定します。
- ※タイルやコンクリートの壁面に取り付けられる場合には、樹脂プラグ(現場手配)などを使用して取り付けてください。
- ※タッピンねじの引き抜き強度1000N以上確保してください。
- ※電線引込口の位置は変更できません。



#### <標準取付高さの目安>

	一般使用	車いす使用	幼児使用
商品上端高さ	標準取付高さに15を足した寸法		
標準取付高さ	1260+50/-0	1160	910
電源線取り出し高さ	標準取付高さから160を引いた寸法		

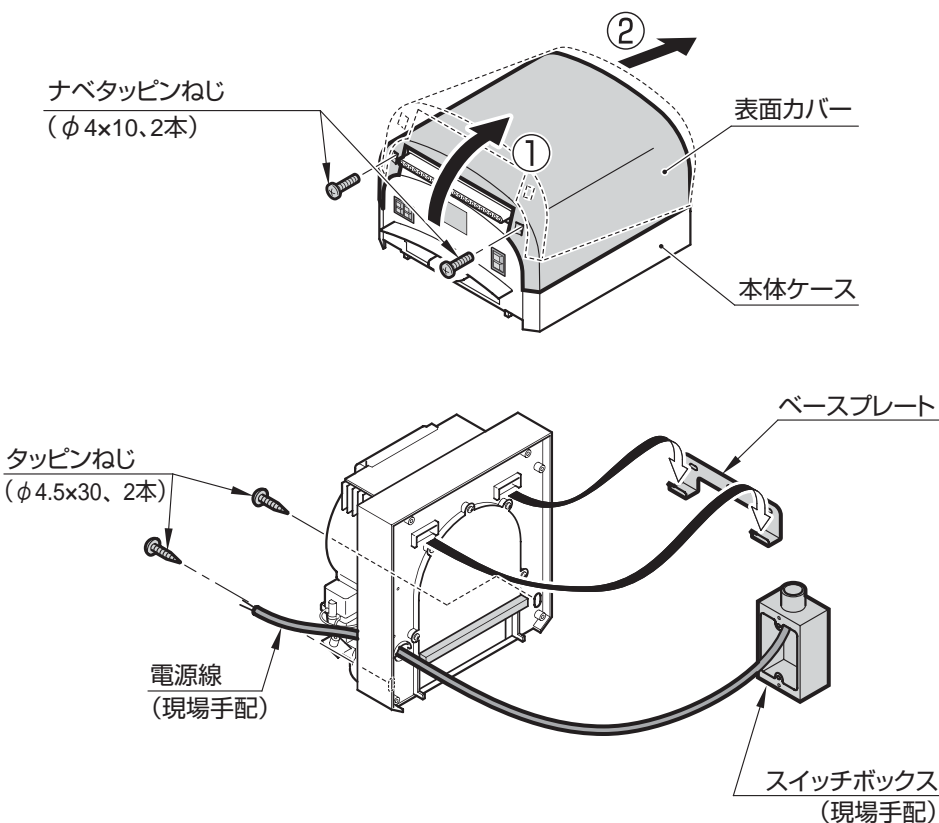
カウンター上部に設置する標準設置高さは1310mm。(カウンター高さ800mmの場合)

#### お願い

- ・商品底面から下方150mm以内には障害物がないように空間を設けてください。また、凹凸のある壁面へ設置しないでください。
- ・使い勝手および、フィルターケースの着脱性などに支障をきたす原因となります。
- ・洗面カウンター上部の設置する場合はカウンターより空間を最低30mm以上確保してください。(カウンター高さ800mmの場合取付高さは1310mm。1310mm以上に設置すると使い勝手が悪くなります。)

### 3 本体ケースの取り付け

- ・ナベタッピンねじ(φ4×10、2本)を取り外し、本体ケースに取り付けている表面カバーを取り外します。
- ※表面カバーは①表面カバー下部を手前に引き、②商品上側へ押し上げるようにして取り外してください。
- ・本体ケース裏側の電源線引込口より電源線を引き込み、本体ケースをベースプレートに引っ掛けます。
- ・本体ケース下部をタッピンねじ(φ4.5×30、2本)で固定します。



### 4 電源線の接続



警告



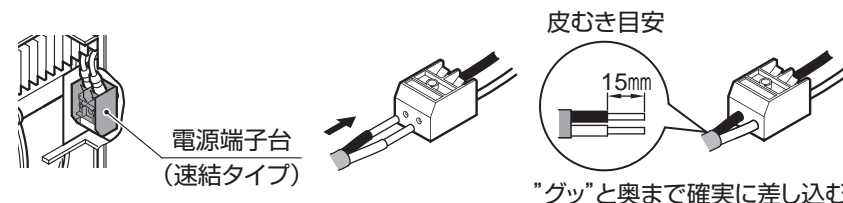
必ず実行

電源線は、先端をそろえ端子台に確実に差し込む  
差し込みが不十分だと火災の原因になります。

- ・本体ケース内に引き込んだ電源線を電源端子台に接続します。

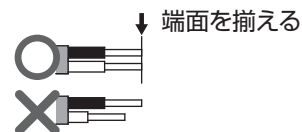
#### ●電源端子台への接続について

各々の芯線がまっすぐ15mm出ている状態に加工のうえで、端子穴に芯線を“グツ”と奥まで確実に差し込んでください。



確実に差し込んでください。

- ・電源線の芯線2本が端子台の手前で均一になるように加工してください。



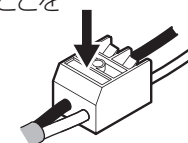
- ・端子台の近くで大きく曲げると先端が十分に差し込まれない場合があります。



- ・端子台の芯線を奥までまっすぐ差し込んでください。



- ・電源線を外すときはここを電工ドライバーで強く押してください。

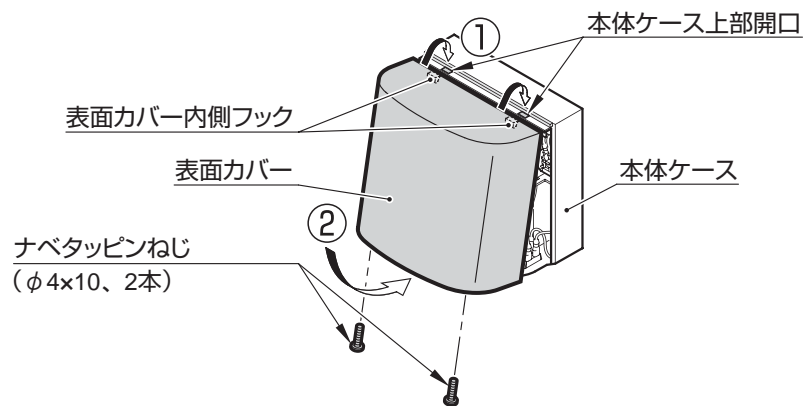


## 5 表面カバーの取り付け

- ・表面カバーを本体ケースに取り付け、表面カバー下部をナベタツピンねじ（φ4×10、2本）で固定します。
- ・表面カバーは①本体ケース上部にある開口部に表面カバー内側のフックを差し込み、②かぶせるようにして取り付けてください。

### 注意

表面カバーを取り付ける際は、電源線やリード線等を挟み込まないように、注意しながら作業してください。



### 注意

- ・プラグ付電源コードは、本体正面よりみて右下側へ配置しながら、本体ケースを取り付けてください。電源コードは左下側からは出せません。
- ・コードが壁面と本体ケースとの間には挟まれないように十分注意してください。

## 3-3 コンセントプラグ使用時の施工方法

⚠ 警告	⊘ 禁止	コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
	⚠ 必ず実行	電源コードは、定格仕様のものを使用し確実に接続する 不確実な接続は火災の原因になります。

コンセント(定格15A AC125V)を単独で設置してください。

※ プラグ付電源コードは、必ず別売品(品番:TYC502型)を使用してください。

## 1 ベースプレートの取り付け

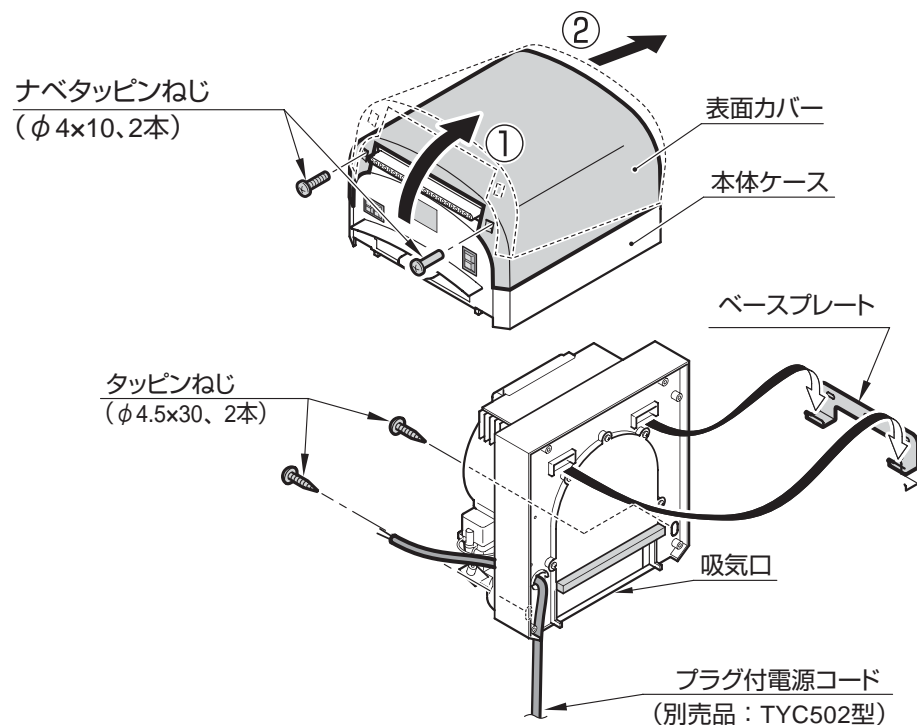
ベースプレートの取付方法は、

**3** 施工方法 **3-2** 電源線直結時の施工方法 **2** ベースプレートの取り付け

を参照してください。

## 2 本体ケースの取り付け

- ・ナベタッピンねじ (φ4×10、2本) を取り外し、本体ケースに取り付けている表面カバーを取り外します。
- ※表面カバーは①表面カバー下部を手前に引き、②商品上側へ押し上げるようにして取り外してください。
- ・本体ケース裏側の電源線引込口より電源線を引き込み、本体ケースをベースプレートに引っ掛けます。
- ・本体ケース下部をタッピンねじ (φ4.5×30、2本) で固定します。



### 注意

- ・プラグ付電源コードは、本体正面よりみて右下側へ配置しながら、本体ケースを取り付けてください。電源コードは左下側からは出せません。
- ・コードが壁面と本体ケースとの間に挟まれないように十分注意してください。

## 3 プラグ付電源コードの接続



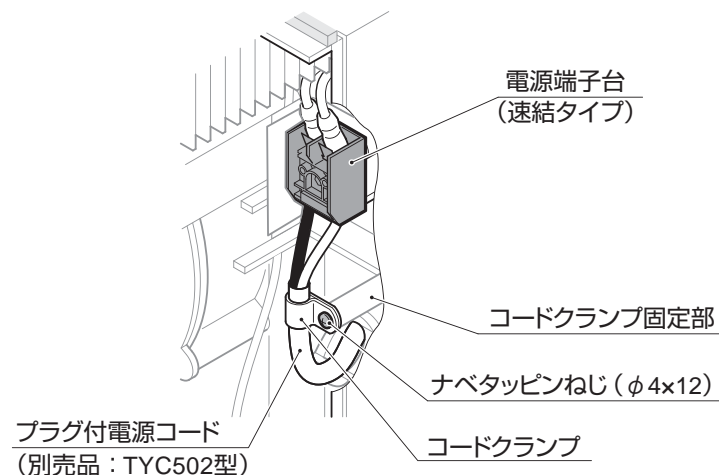
警告



禁止

電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない  
傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、  
重たいものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしないで  
ください。傷んだまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。

- ・本体ケース裏側の電源線引込口より引き込んだプラグ付電源コードを電源端子台に差し込みます。



- ※付属のコードクランプ1個とナベタッピンねじ (φ4×12、1本) にて本体ケースの電源線引込口上にあるコードクランプ固定部にプラグ付電源コードを固定してください。

## 4 表面カバーの取り付け

表面カバーの取付方法は、

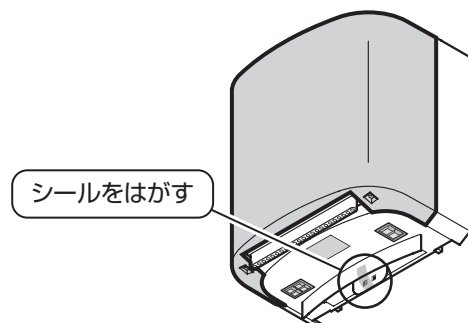
**3** 施工方法 **3-2** 電源線直結時の施工方法 **5** 表面カバーの取り付け

を参照してください。

## 4 試運転

■ 取り付けが完了しましたら、以下の方法で試運転を行ってください。

- ・はじめに、フィルター部についているシールをはがしてください。  
(シールは輸送時のフィルターはずれ防止のもので、破棄ください。)



### 1. 電源の投入

- ・屋内電源のブレーカーを「入」にしてください。  
または電源プラグをコンセントに差し込んでください。

### 2. 電源スイッチの確認

- ・電源スイッチを入れてください。

### 3. 動作の確認

- ・吹き出しノズルの下に手を差し出し、風が吹き出すことを確認してください。

### 4. 風量切替スイッチ、ターボ入切スイッチの確認

- ・風量切替スイッチおよびターボ入切スイッチを操作し、モードが切替わっているか確認してください。

**注意** ※ 切替操作は、運転が完全に停止してから行ってください。

## 試運転のあとは

■ 工事店様へ

試運転での動作確認が終了しましたら、付属の「取扱説明書(保証書付)」「使用方法ラベル」をお客様に渡し、商品の使いかたについて説明してください。